

デジタルとくしま推進プラン

～とくしま版DXの実現に向けて～

12 デジタル人材育成プロジェクト



プロジェクトの位置づけ



目指すべき社会

人材を育み、誰もが輝く自己実現可能な社会

基本目標(分野)

教育・人材育成

重点戦略

デジタル人材の育成支援

プロジェクトの内容

- ①次世代のデジタル人材の育成や、職業訓練を通じた現場で即戦力となる人材の育成を行う。
- ②外部人材の登用や、サイバーセキュリティに強い人材を育成し、行政組織のDX人材育成を推進する。
- ③デジタル技術を競うコンテスト「デジタルとくしま大賞」を開催し、新たな人材の発掘を行う。(R6廃止)

誰もが安心してデジタル技術を学べる環境の整備

デジタル専門人材の育成

- ・5Gを活用できる人材の育成
- ・AI、IoT、ビッグデータに対応した訓練
- ・DXに対応するデジタル機器を活用した訓練



徳島ならではのDX人材育成

次世代のデジタル人材の育成



小中学生を対象としたプログラミング教室

- ・プログラミング教室の実施
- ・通信事業者等による先端技術体験を実施
- ・大学生の講師による中高生を対象とした科学技術講座

GIGAスクール構想と連携

行政組織のデジタル人材育成

- ・デジタル技術に関する実務経験を有する人材の活用
- ・民間企業と連携し、高度なサイバー犯罪対処能力を持つ警察官の育成

デジタル技術の習得・能力向上により、自己表現や自己実現のためのコンテンツ作成が増加

デジタルとくしま大賞の応募件数



R3
75件

R4
85件

R5
95件

R6
事業廃止

実践的なデジタル人材の育成・発掘

産学官連携による
知のイノベーションの創出

デジタル人材による
徳島のにぎわい創出

主な指標及び工程(1)

※実績値はR6.3.31時点(見込)

◆ KGI : デジタルとくしま大賞※の応募件数/年

担当課: デジタルとくしま推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	75件	85件	95件	
実績	—	32件	74件	51件	事業廃止

※様々な主体がデジタル技術を競い合うコンテスト R5で廃止

□ CSF-1 : デジタル専門人材の育成

➤ KPI-1 : IoT・ビッグデータ・AIに対応した委託 訓練の技能習得者数※

担当課: 産業人材育成センター

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	50人	60人	70人	80人
実績	—	48人	67人	60人	—

※一定の技能を習得し、訓練実施者から修了証書の交付を受けた者

➤ KPI-2 : DXに対応する「デジタル機器」を活用 できる技術習得者数※

担当課: 産業人材育成センター

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	20人	25人	30人	35人
実績	—	18人	19人	29人	—

※カリキュラムを受講し、習熟度評価試験(学科及び実技)を受けた者

主な指標及び工程(2)

※実績値はR6.3.31時点(見込)

- KPI-3 : 中央テクノスクールのローカル5G基地局を活用した訓練による新規5G技術習得者数※ 担当課:産業人材育成センター

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	8人	8人	8人	8人
実績	—	8人	8人	8人	—

※カリキュラムを受講し、習熟度評価試験(学科及び実技)を受けた者 (再掲 15 ローカル5Gプロジェクト で詳細説明)

□ CSF-2 : 次世代のデジタル人材育成

- KPI-1 : プログラミング教育出前授業の実施 担当課:e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	20回	40回	15回	15回
実績	—	39回	11回	13回(見込)	—

※教員が自ら授業を行っていることや 他団体でも同種の取組を行っていることから目標値を下方修正した。

(再掲 13 デジタルデバインド対策プロジェクト)

- KPI-2 : デジタル技術に関するキャリア教育出前授業※の実施 担当課:e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	10回	30回	15回	15回
実績	—	26回	23回	13回(見込)	—

※県内小中高、特別支援学校を対象とした民間企業・団体によるデジタル技術に関する講座や実習

※教員が自ら授業を行っていることや 他団体でも同種の取組を行っていることから目標値を下方修正した。

主な指標及び工程(3)

※実績値はR6.3.31時点(見込)

- KPI-3 : 大学生の講師による中高生を対象とした
科学技術指導講座※参加者数(累計)

担当課: 県立総合大学校本部

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	200人	300人	400人	500人
実績	97人	258人	374人	462人	—

※デジタル技術を活用したSTEAM教育に資する体験型講座

□ CSF-3 : 行政組織のデジタル人材育成

- KPI-1 : デジタル技術に関する
実務経験を有する人材の活用

スマート県庁推進課
担当課: デジタルとくしま推進課
人事課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	必要な人材を把握しながら推進(PDCA)			
実績	—	推進	推進	推進	—

- KPI-2 : サイバー犯罪対処能力を有する者の育成

担当課: 警察本部

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	94.4%	100%	100%	100%
実績	86.9%	94.4%	99.7%	100%	—

課題とアクション

	課題	アクション
1	デジタル技術に関わる機会を増やし、裾野を広げていく必要がある。	<p>科学技術アカデミーとして、県内の中高生に対し、高等教育機関との連携による先端技術をテーマとした体験型の講座などを開催し、実践的な学習の機会を実体験とオンラインとを効果的に組み合わせ提供する。</p> <p>産業界が求める最新の技術に対応できる人材育成を図るため、離職者を対象としたIoT・ビッグデータ・AIに関する知識・技能の習得訓練の実施やテクノスクールにおける最新のデジタル機器を活用した訓練を実施することで、再就職やデジタル人材の育成につなげる。</p>
2	高度化するサイバー犯罪に対応するため、警察官の対処能力を高める必要がある。	サイバー犯罪対処能力を有する警察官を育成するとともに、徳島県警察サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザーと連携し、サイバー空間の脅威に迅速かつ適切に対処する。



令和5年度における取組内容

■ 主な取組

- デジタルとくしま大賞、及びとくしまDXフォーラム
 - ・ 県内最大のデジタルコンテンツのコンテストを実施
 - ・ 関西万博を契機に、徳島を世界に発信するコンテンツを募集
- デジタル専門人材育成に資する職業訓練
 - ・ 中央テクノスクールのローカル5G基地局を活用した訓練
 - ・ IoT、ビッグデータ、AIに対応した委託訓練
- 次世代のデジタル人材育成に資する出前授業
 - ・ プログラミング教育や企業によるデジタル技術に関する講座開催
 - ・ 中高生を対象とした科学技術に関する実践的講座開催

■ 令和5年度予算 8,160千円

- | | |
|-------------------------|---------|
| ➤ とくしま版DX加速！ デジタル人材育成事業 | 1,900千円 |
| ➤ 「科学技術アカデミー」中高生向け実践講座 | 1,360千円 |
| ➤ テクノスクール新技術対策事業 | 4,900千円 |

令和5年度における取組内容(参考)

➤ 第3回デジタルとくしま大賞

- 期間 令和5年7月12日(水)～11月4日(日)
※締め切りを10月20日から延長
- 内容
「未来感じる徳島～Beyond2025～」をテーマに
デジタルコンテンツを募集
全国から徳島を表現したデジタルコンテンツが集まった
- 応募作品数 51作品

➤ とくしまDXフォーラム

- 日時 令和6年1月26日(金)午後1時30分～
- 場所 アスティとくしま2階 ブライダルコアときわホール
- 内容
第一部 第3回デジタルとくしま大賞表彰式
第二部 第3回デジタルとくしま大賞 受賞作品プレゼンテーション
第三部 基調講演 講師 株式会社jig.jp 代表取締役社長
福野 泰介 氏
参加者数 97名 (オンライン参加者含む)





令和6年度における取組予定

■ 主な取組

➤ デジタル専門人材育成に資する職業訓練

- 中央テクノスクールのローカル5G基地局を活用した訓練
- IoT、ビッグデータ、AIに対応した委託訓練

➤ 次世代のデジタル人材育成に資する講座

- プログラミング教育や企業によるデジタル技術に関する講座開催

■ 令和6年度予算(要求中) 5,302千円

➤ テクノスクール新技術対策事業 5,302千円



案件種別

「リーディング」案件として (該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として (該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として (該当あり 該当無し)

